

てる たが離れる

11月9日～11月15日

その時を

(平成19年度全国統一防火標語)

秋から冬にかけては、暖房器具やたき火などいろいろな場所では火を使う機会が多くなります。また、空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節となります。

このような時期を迎え、一人ひとりが火災予防の知識をもち、それを実践することにより火災の発生を防止し、事故や財産の損失を防ぐことを目的に、11月9日から15日までの7日間、全国火災予防運動が展開されます。

この運動で火災の恐ろしさを認識し、いざというときに的確で冷静な行動がとれるよう心がけ、防火対策を実践しましょう。

那珂川町消防団通常点検

平成19年度那珂川町消防団通常点検が10月28日、馬頭運動場などで行われました。

午前8時、川崎町長が点検を宣言すると、通常点検が開始され、人員並びに服装点検、機械器具点検など日ごろの訓練の成果が披露されました。

点検後行われた分列行進では、多くの町民が見守る中、

団旗を持つ団員を先頭に、消防自動車30台が役場前通りを行進しました。その後、武茂川古橋橋付近で放水点検が行われました。

なお、県知事や県消防協会長、同南那須支部長などから表彰された方々は次のとおりです。
(敬称略)

模範消防団員知事表彰

第3分団長 鈴木 政志

第9分団長 小瀬澤 太

栃木県消防協会長表彰

()は本団または分団名

功績章 小高 可守(1)

功績章 小林 富雄(8)

勤続章(25年) 屋代 昌利(本)

勤続章(20年)

川上 満(本) 小高 可守(1)

小林 富雄(8) 阿久津 肇(10)

益子 章一(7) 川又 享(11)

大金 晋一(21) 菊池 浩一(7-2)

塚原 昭雄(9-2) 塚原 裕一(9-2)

本棒 章浩(9-2) 小森 隆文(11-3)

佐藤 康之(8-2) 福田 浩二(10-1)

小林 博(10-1) 薄井 清次(10-2)

船山 明彦(11-1) 船山 正男(11-1)

鈴木 光明(11-3)



服装点検



機械器具点検



分列行進



ポンプ操法

勤続章(15年)
益子 和則(7)
石井 保之(2-2)
川勾 四郎(6-3)
飯山 英明(3-2)
船山 博之(4-2)
菊池 高野(4-2)
佐藤 浩実(6-2)
大藤 正浩(6-2)
大金 政弘(7-2)

阿部 和也(1-3)
米田 浩道(3-1)
市川 三三夫(2-3)
高野 勝浩(4-2)
桑野 正尚(5-3)
島山 修(6-2)
磯野 重治(6-1)

勤続章(10年)
大金 忠夫(4-1)
川井 洋(9-3)
和泉 光俊(10-1)
鈴木 正義(11-2)
金子 勝(1-3)
齋藤 英輝(2-1)
薄井 晃司(2-3)
露久保 博幸(2-3)

高野 輝雄(5-3)
老松 康浩(9-3)
磯部 一博(11-1)
山田 剛(1-1)
笹島 勝志(1-4)
大武 伸行(2-2)
小口 正之(2-3)
田角 正明(3-1)

火は見 あな

藤田 勝 (32)	岡 勝 (41)	石田 正義 (51)	高野 勝也 (53)	小船 郁夫 (71)	星 治 (82)	佐藤 正昭 (83)	手塚 純一 (91)	薄井 忠人 (102)	橋本 隆治 (102)	土田 晶久 (111)	親子消防団員表彰	吉澤 通夫 (102)	優良分団 (竿頭授)	功績章	秋元 正己 (4)	益子 和則 (7)
益子 研一 (32)	高山 義彦 (51)	高野 寛 (51)	岡本 勇一 (61)	鶴蒔 重之 (81)	塩原 和幸 (82)	宮本 敬 (83)	渡邊 光博 (91)	橋本 秀一 (91)	青木 祐一 (111)		吉澤 信隆 (102)				福田 忠義 (6)	

栃木県消防協会南那須支部長表彰

優良分団 (竿頭授)

功績章

第5分団第3部

那珂川町消防団長に大金市美氏



地域住民の生命や財産を守るため活躍している那珂川町消防団員は現在、587名です。
その団員を束ねる新団長には、平成19年4月、大金市美氏 (大内) が就任しました。

勤続章 (5年)	星 勇一 (13)	久保 裕史 (13)	大金 正幸 (21)	大金 康幸 (20)
坂尾 宗則 (42)	桑野 正浩 (63)	穴山 正一 (20)	菅崎 利美 (20)	
中田 正則 (12)	吉成 和人 (14)	小室 淳一 (20)	小松 正紀様 (大子町)	
塙 和広 (22)	神岡 浩史 (23)	消火協力者	優良火気取扱者表彰	
小高 義弘 (31)	小高 博史 (31)	小高 郁 (馬頭)	小高 幸子 (馬頭)	
岸 昌宏 (32)	酒主 雅俊 (31)	酒主 和見 (和見)	酒主 直美 (北向田)	
田代 賢志 (61)	佐藤 忠幸 (61)	齋藤 理加 (久那瀬)	齋藤 直美 (北向田)	
星 恵文 (62)	齊藤 洋一 (62)	阿久津智子 (浄法寺)	阿久津智子 (浄法寺)	
深沢 修司 (71)	創史 (63)	岡 よし子 (大山田下郷)	川和ミチエ (大内)	
功績表彰 優良分団	功績表彰 優良分団	川上登紀子 (恩田)	薄井 幸枝 (小川)	
第1分団 第7分団	第1分団 第7分団	鈴木希巳枝 (白久)		
永年勤続退職表彰	永年勤続退職表彰			
() は勤続年数	() は勤続年数			

団長表彰

優良火気取扱者表彰

携帯電話で119番通報をするとき！

携帯電話で119番通報した時の流れ

南那須管内から119番通報をすると、南那須地区広域行政事務組合消防本部烏山消防署が受信します。その後、火災発生地域の消防署、分署へ転送または連絡されます。

- ★災害発生場所をしっかりと確認し、必ず町名を伝えましょう。
- ★自動車など走行中の場合は、必ず安全な場所に停車してから通報しましょう。
- ★携帯電話で所轄消防署の加入電話へ直接通報すれば所轄内の消防機関が応答します。

管内の消防機関の加入電話番号

馬頭分署 ☎0287-92-2800
小川分署 ☎0287-96-2188

もしもの時にあわてないよう、携帯電話へ登録しておきましょう！

天ぷら油による火災に注意！

建物火災の出火原因をみると、ガスコンロが原因によるものが最も多く、これらの火災の大半は天ぷら油等が起因しています。天ぷら油は温度が発火点 (360℃～380℃) 以上になれば、火種がなくても発火して燃焼を始めます。

一般に家庭で使用する油量程度の天ぷら油を家庭用ガスコンロで加熱すると、約5分で揚げ物に適した温度 (約160℃～200℃) に達し、そのままの状態では約10分で異臭とともに白煙が立ち始め、ちょっと目を離したすきに火災になってしまいます。

天ぷら油火災の多くは、天ぷらを揚げている時に来客、電話、子どもの世話などでガスコンロから離れた時のような、ちょっとした油断が原因で発生しています。いったんコンロに火を付けたら、絶対にその場を離れない、離れる必要がある時はコンロの火を消してから離れる習慣をつけることが重要です。

もし、天ぷら油火災が発生した場合は消火器で消火することが確実ですから、消火器を備えておくことが安心です。